

受講者募集

こどもや若者を 性暴力から守るための研修 2026〈応用編〉

性暴力の被害にあったこどもや若者が、傷つきから立ち直り、前に進むためにはどうすればいいのか。応用編では、性暴力を生む社会構造をはじめ、被害による心身への影響などを学び、事例検討や参加者同士の意見交換を行います。こどもや若者のSOSに気づいた時、「身近な大人」としてどう寄り添い、サポートしていくかを考える研修です。

実施期間

2027年
1日目 **1/23** 土 13:30~18:20

2027年
2日目 **2/6** 土 13:30~17:30

対象・定員

30名 (抽選)

- ・ 教員、養護教諭、児童館・保育所・認定こども園職員、障害児施設職員等の教育・保育現場に携わる方
- ・ こども・若者支援団体関係者
- ・ 「こどもや若者を性暴力から守るための研修2026〈基礎編〉」を受講し、さらに学びを深めたい方 など

受講料

4,000円 (資料代を含む)

会場

仙台市男女共同参画推進センター

エル・ソーラ仙台 大研修室

〒980-6128 仙台市青葉区中央1丁目3-1 アエル28階

〈応用編〉

研修内容

1日目 : 1月23日(土) 13:30~18:20

時間	内容	講師
13:30~14:00	オリエンテーション ・研修趣旨説明 ・自己紹介	
14:10~16:10	性暴力とジェンダー ・暴力被害を生む社会構造や社会背景について ・新たに施行される「こども性暴力防止法」などの関連法令、刑法改正について	北仲 千里氏
16:20~17:50	性暴力被害者など困難を抱える女性の背景 ・逆境的小児期体験(ACE)の影響 ・ACEサバイバーへの支援について	三谷 はるよ氏
18:00~18:20	振り返り	

2日目 : 2月6日(土) 13:30~17:30

時間	内容	講師
13:30~15:00	若年女性への性暴力被害の現状と支援のあり方 ・AV/児童ポルノ被害やデジタル性暴力の現状 ・被害者支援の取り組みについて	内田 絵梨氏
15:10~16:40	二次被害を起こさない適切な支援に向けて ・性暴力被害者の心理について ・意見交換(グループワーク)	中川 浩子氏
16:50~17:30	情報交換・振り返り	

申込

受講申込書を募集期間中にE-mail、FAX、または郵送により提出してください
※受講申込書は右記の二次元コードからもダウンロードできます



募集期間

2026年8月1日(土)~2027年1月6日(水)

※応募多数の場合は仙台市内在住または在勤の方を優先し、その上で抽選により決定します
※抽選結果については、募集メ切後1週間以内に、申込書にご記入いただいたご連絡先にお知らせします

託児

託児利用料: こども1人1,000円/日 ※6か月以上小学1年生まで
しょうがいのあるお子さんや、小学2年生以上のきょうだいがいる場合はご相談ください

申込・問合せ

仙台市男女共同参画推進センター エル・ソーラ仙台 相談支援課
〒980-6128 仙台市青葉区中央1丁目3-1 アエル29階
TEL 022-268-8302 / FAX 022-268-3911 / E-mail ^{エル}sola5@sendai-l.jp^{エル}

講師プロフィール

(プログラム順／敬称略)

きたなか ちさと 北仲 千里 NPO 法人全国女性シェルターネット 共同代表 NPO 法人性暴力被害者サポートひろしま 代表理事 広島大学 ハラスメント相談室 准教授	専門は社会学で、特にジェンダー論に特化した研究を行っている。1997年頃より「キャンパス・セクシュアル・ハラスメント全国ネットワーク」設立にかかわる。現在、内閣府男女共同参画会議 暴力に関する専門調査会委員、ジェンダー法学会理事を務める。共著：『脱セクシュアル・ハラスメント宣言 法制度と社会環境を変えるために』（かもがわ出版）、『アカデミック・ハラスメントの解決：大学の常識を問い直す』（寿郎社）など。 https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/onestop/ 「性被害ワンストップセンターひろしま」ホームページ 
みたに 三谷 はるよ 大阪大学大学院人間科学研究科 准教授 ACE ラボ 代表	専門は福祉社会学・家族社会学。福祉・家族・子どもをめぐる問題や実践について、社会調査による実証研究を行っている。逆境的小児期体験（adverse childhood experiences：ACE）に関する学術研究の成果を発信し、ACE サバイバーが生きやすい社会づくりとACEを予防する社会づくりを目指すプラットフォームとして、「ACE ラボ」の運営を行う。著書に『ACE サバイバー—子ども期の逆境に苦しむ人々』（筑摩書房）、『はじめての社会調査』（世界思想社）など。 https://acelab.site/ 「ACE ラボ」ホームページ 
うちだ えり 内田 絵梨 NPO 法人ぱっぶず（ポルノ被害と性暴力を考える会）理事	NPO 法人ぱっぶずにて、性的搾取やデジタル性暴力の被害に巻き込まれた方への相談支援と政策提言を中心に活動している。ぱっぶずでは、インターネット上に拡散された性的画像・動画の削除要請、アウトリーチ、居場所づくりなどにも取り組んでおり、こうした支援活動にも幅広く携わる。「性的搾取に私たちの世代で終止符を打つ」というミッションの実現に向け、被害者が孤立せず、必要な支援につながることでできる社会づくりに取り組んでいる。 https://www.paps.jp/paps 「NPO 法人ぱっぶず」ホームページ 
なががわ ひろこ 中川 浩子 フェミニストカウンセラー 臨床心理士 公認心理師	1967年広島生まれ。米国ニューヨーク大学で臨床心理学修士取得（コミュニティアプローチ）。国家公務員を経てカウンセラーに転職。東京都内の男女共同参画センター等でDVやハラスメント等女性の生きづらさの相談業務を行った後、現在は大学で多様な背景の若者の成長支援に従事。趣味はギター。愛読書は『彼女は頭が悪いから』（姫野カオルコ著）、『土の中の子供』（中村文則著）。一般社団法人日本フェミニストカウンセラー協会所属。 https://fckyoukai.jimdofree.com/ 「一般社団法人フェミニストカウンセラー協会」ホームページ 

関連事業

ストップ！ DV・性暴力市民講座 2026

■ 第1回 11月15日（日） | 講師：信田 さよ子 氏
（第2回は2027年2月13日（土）に開催予定）



※詳細は決まり次第、センターのホームページ（<https://www.sendai-l.jp/>）でお知らせします

※「こども性暴力防止法」とは

2026年12月25日より、学校や保育所、学習塾など、こどもに対して教育・保育などを行う事業者には、性暴力を防ぐための取り組みが求められます。
詳細はこども家庭庁のホームページをご覧ください。

